

原 著

病院歯科における歯科衛生士の役割について ～前期母親学級での口腔衛生指導等を実施して～

村上総合病院歯科、口腔外科；歯科衛生士

東海林知子、石塚 千恵、田中 典子

目的：これからの病院歯科は歯科治療のみならず、口腔状態が全身に及ぼす影響を十分に理解した上で院内の他科との連携を緊密に図り、患者にとって必要かつ適切な治療、指導を行っていくことが求められ、それがひいては、患者数の増加にもつながっていくと考えられる。そこで今回は産科における前期母親学級での妊婦への口腔衛生指導およびアンケートを実施することで、妊婦の歯周病と妊娠に関する意識調査とそれに関連して歯科衛生士の役割を確認することにした。

方法：村上総合病院産科での前期母親学級に参加した妊婦を対象に、妊娠と歯周病や口腔内環境との関係についての説明、口腔衛生状態改善や保持の指導を行い、その指導前後にアンケートを行った。

結論：今回のアンケート結果から、妊婦が歯周病と早産や低体重児出産との関連性についての理解はほとんど認められず、妊娠前から啓蒙、指導することは有意義であることが示唆された。

キーワード：妊婦アンケート、歯周病、早産、低体重児出産

緒 言

近年、歯周病が妊娠に大きな影響を与えるということがわかってきている。¹⁻³⁾歯周病と早産、低体重児出産の関連性が注目されるようになり、歯周組織の健康状態の悪化が妊娠維持期間の短縮に関与し、切迫流産や早産を引き起こすことから、妊婦に対する妊娠前及び妊娠期における歯周病の危険性とその予防の啓蒙、歯周病罹患のチェックや適切な衛生指導、早期治療が必要と考えられる。そこで村上総合病院産科における前期母親学級に参加した妊婦に口腔衛生指導等を行い、病院における歯科衛生士の役割を検討する。

対 象 と 方 法

対 象：村上総合病院産科にて前期母親学級に参加した妊婦65名（表1、図14）
実施期間：平成19年1月～12月の1年間、月1回第1火曜日 午後2時～2時30分
実施方法：①指導前アンケートを配布し無記名の記入

を依頼した。②妊娠と歯周病や口腔内との関係、特に早産や低体重児出産についての資料（プリント）を配布し、それに基づき説明、指導を行った。③口腔模型を使用し、基本的なブラッシング方法、歯を磨く際のポイントについて口腔衛生指導の実技を行った。④指導後アンケートを配布、記入してもらい指導内容の理解度や要望を確認した。

<以下アンケート項目>

指導前アンケート

- Q 1 妊婦歯科検診を受けましたか？
- Q 2 妊娠して歯磨きしにくくなりましたか？
- Q 3 歯周病の原因と症状を知っていますか？
- Q 4 妊娠すると虫歯や歯周病になりやすいことを知っていますか？
- Q 5 歯科衛生士による歯磨き指導を受けたことがありますか？
- Q 6 妊娠中でも歯科治療できることを知っていますか？
- Q 7 歯周病と低体重児や早産の関係を知っていますか？

指導後アンケート

- Q 1 妊娠中の歯磨き方法はわかりましたか？
- Q 2 妊娠すると虫歯や歯周病になりやすいことがわかりましたか？
- Q 3 歯周病の原因や症状がわかりましたか？
- Q 4 歯周病と低体重児や早産の関係がわかりましたか？
- Q 5 妊娠中における口の中の健康も大切なことが理解できましたか？
- Q 6 歯科医院に受診してみようと思いましたか？

結 果

指導前アンケートの回答より以下の結果を得た。

Q 1 の妊婦歯科検診受診の質問に対しては、受診したのは3名、4.6%のみで、62名、95.4%とほとんどが受診していなかった。（図1）Q 2 では、歯磨きしにくくなったのが34名、52.3%、変わらないのが31名、47.6%で、妊娠により歯磨きがしにくいことの有意差はなかった。（図2）Q 3 の歯周病については、良く知っている、ある程度知っていると回答したのは20名、30.8%であり、知らないと回答したのは45名、69.2%と多かった。（図3）Q 4 では、妊娠すると虫

歯や歯周病になりやすいことを知っているが45名、69.2%、知らないが20名、30.8%であった。(図4) Q5の歯科衛生士による実際の指導を受けたことのあるのは32名、49.2%、受けたことがないが33名、50.8%とはほぼ同数であった。(図5) Q6の妊娠中の歯科診療についての質問では、59名、90.8%が歯科治療できることを知っており、知らないと回答したのは6名、9.2%であった。(図6)

ではQ7の歯周病と低体重児や早産との関係について、良く知っていると回答したのは1名のみで、ある程度知っているが11名で合わせて12名、18.5%であるのに対して、まったく知らない、あまり知らないと回答したのは53名81.5%と多かった。(図7) 指導後アンケートの結果からは、Q1、Q2、Q3、Q4およびQ5の質問に対してはいずれもほぼ全員からよく分かった、ある程度分かったとの回答を得た。さらにQ6の歯科受診を試してみようと思いましたがの質問には57名、87.7%が歯科に受診してみようと思ったと回答した。(図8～図13)

考 察

歯周病は生活習慣病に分類される唯一の歯科疾患であり、全身へも大きく影響し、全身疾患との関連も明らかになってきている。それらの中には歯周病と早産(37週未満の出産)や低体重児出産(2,500g未満の出産)に関する研究において、アタッチメントレベルが3mm以上の部位が60%以上認められる、いわゆる中等度および重度の歯周疾患に罹患している妊婦から生まれる子供が早産や低体重児となるリスクは、口腔内が健康な母親と比較して6～7.9倍高く、母親の歯周組織の状態が出産状態と関連し、歯周病変が臨床的に重要なリスクファクターであることが示唆された。⁴⁻⁷⁾

さらに近年、歯周病と全身疾患との関連がマスコミやインターネットなどに取り上げられるようになり、その概念が広く一般の知るところとなっている。

今回のアンケート調査は、指導前と指導後に行ったことで当院産科受診中の妊婦の口腔内や歯周病に対する意識や妊娠との関係、さらに歯周病と早産、低体重児出産との理解について、ある程度把握することが出来たと考えられる。まず妊婦の歯科検診の受診については指導前アンケートの結果からはほとんどが受診しておらず、その必要性や重要性について理解していなかったと思われるが、指導後は、80%以上の方が受診してみると答えており、指導によって一定の理解が得られたと考えられ、実際に当科への妊婦の受診は増加傾向にある。次に妊娠と歯周病との関係については、指導前は歯周病とは何か、そもそも基本的な知識についてほとんどの人が知らない状況であったが、歯周病に対する正しい知識とそれを予防するためのブラッシング方法を指導することによって理解が深まることが伺われた。さらに歯周病と早産や低体重児出産との関係についても、妊娠すると歯周病になりやすいことは知っていても歯周病の悪化が早産や低体重児につながることはほとんど知らないため、パンフレット等を利用して、低体重児出産や早産を誘発するメカニズムについてより詳しく説明することで、ほぼ全員の理解を深めることが出来たと考えている。また、正しい歯磨

き指導を受けたことがない人が多かったため、実際に口腔模型を使っただけの指導はかなり関心が高く、指導後の理解度が進んだと思われる。これらが動機づけとなり、妊娠中においても歯科受診につながり、さらに歯科衛生士による個々に合った専門的なブラッシング指導やPMTCを受けることで口腔内の衛生状態が改善や維持につながると考えられる。

早産については在胎週数が短いほど成人後に医学、社会的障害を負う頻度が高いとの報告があり、先進国における低体重時出産の割合は約10%とされ、その原因として年齢、薬物、アルコールやタバコの濫用、尿路感染症や膣炎、糖尿病などがあるが、歯周病もその原因の一つとされている。つまり歯周病の適切なコントロールにより、低体重時出産の割合の減少がはかれることが期待できるとされている。⁹⁻¹⁰⁾ 当院産科において満期出産での低体重児出産の割合は、2006年度6.9%、2007年度5.8%と低値ではあるが、歯周病の危険性とその予防の啓蒙、歯周病罹患のチェックや適切な衛生指導、早期治療によりさらに減少させることが出来る可能性が伺われた。

昨今は病院歯科のみならず医療を取り巻く環境は厳しさを増し、患者のニーズも多様化してきている。それらに対する医療サービスの一環として、歯科衛生士としても歯科外来における勤務のみではなく、他科とのより緊密な連携を図りながら歯科衛生士としての任務を遂行することが重要である。具体的には今回のアンケートを基に、産科とタイアップしてこれまで通りの母親学級での口腔衛生指導に加えて、妊婦の産科定期健診時にトータルケアとして歯周病チェックや口腔衛生指導、口腔ケアを行い、必要であれば歯科受診を勧め、早期治療を開始する。また妊娠前や不妊治療中の患者さんへの啓蒙活動や口腔衛生指導などの機会を積極的に設けるなどが必要だと考えている。また、産科だけではなく口腔と全身疾患との関連を十分に踏まえた上で、入院患者の口腔ケアや周術期の口腔ケアあるいは循環器センターとの連携、糖尿病教室への参加など他にも多岐に渡る活動が行えるものだと考えている。

結 語

1. 今回のアンケートで妊婦の歯周病と妊娠の関係や、口腔ケアの重要性に対する認識が低いことが明らかになったが、妊娠と歯周病や口腔内環境との関係についての説明、口腔衛生指導により、関心と理解が深まったことが伺われた。
2. 歯周病の予防や早期治療により、早産や低体重児出産の減少の可能性が示唆されていることより、歯周病と妊娠との関係について母親学級以外にもあらゆる機会を利用して啓蒙活動を実施していく必要があると考えられた。
3. 産科とのタイアップにおいて、歯科衛生士としての関わりは母親学級のみではなく、多岐、多様な患者ニーズに応えられるトータルケアの一翼を担う必要があると思われた。
4. 病院歯科に勤務する歯科衛生士の役割としては、診療室の中で歯科診療補助だけではなく、口腔状態が全身に及ぼす影響を十分に理解した上で院内の他科との連携を図り、口腔ケアの重要性と必要性を示

すことだと考えられた。

謝 辞

稿を終えるにあたり、多大なるご指導、ご校閲を賜りました村上総合病院歯科口腔外科部長堀川恭勝先生に心よりお礼申し上げます。

- 8) Dag Moste, Rolv Terje Lie. Trond Markestad, Long-Term Medical and Social Consequence of Preterm Birth. NEngl JMed,2008 ; 359 : 262-73.
- 9) 鴨井久一、沼部幸博 成人期の口腔管理と展望 -歯周病と全身疾患との関連について- ;日歯会誌 2002 ; 21 : 97-101.
- 10) 沼部幸博 歯周病と全身疾患との関係 -歯周医学の概念一、歯学 秋季特集号, 2006 ; 94 : 6-11.

文 献

- 1) 石川 烈編著 歯周病と全身の健康、医学情報社 ; 12、2006.
- 2) ライオン歯科衛生研究所編 歯周病と全身の健康を考える、医歯薬出版、東京、2004 ; 38-46.
- 3) 伊藤幸一 歯周治療の重要性をどう人びとに伝えますか？ 歯科医師の役割、歯周病と全身疾患、日本歯科評論別冊2006, 2006 ; 171-80.
- 4) Hill GB Preterm Birth : Associations with Genital and Possibly Oral Microflora. Ann Periodontol,1998 ; 3 : 222-32.
- 5) Offenbacher S Potential Pathogenic Mechanisms of Periodontitis-Associated Pregnancy Complications,Ann Periodontol,1998 ; 3 : 233-50.
- 6) Offenbacher S, Lief S, Boggess KA Maternal Periodontitis and Prematurity. Part I ; Obstetric Outcome of Prematurity and Growth Restrictio. Ann Periodontol,2001 ; 6 : 164-74.
- 7) Page R.C. The pathobiology of periodontal diseases may affect systematic diseases : Inversion of a paradigm. Ann Periodontol,1998 ; 3 : 108-20.

英 文 抄 録

Original Article

Role of dental hygienists in our hospital -a conduction of a survey on attitudes toward our oral hygiene instruction for the first-trimester maternal classes-

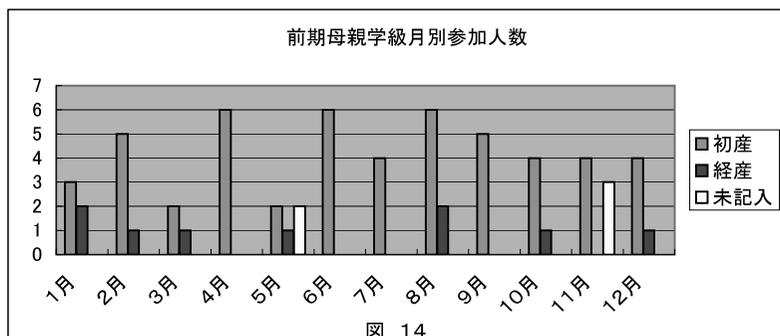
Murakami General Hospital, Department of dentistry ; Dental hygienist
Tomoko Syoji, Chie Ishizuka, Noriko Tanaka

Summary : On the basis of our inquiry survey on attitudes toward our oral hygiene instruction for maternal classes, they had a lack of understanding about the relation between the maternal periodontal disease and the risk of preterm delivery. Our oral hygiene instruction was regarded as important for pregnant women.

Key Words : inquiry survey for maternal classes, periodontal disease, preterm birth, low-birth-weight baby

表 1 前期母親学級月別参加人数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
初産	3	5	2	6	2	6	4	6	5	4	4	4
経産	2	1	1	0	1	0	0	2	0	1	0	1
未記入	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0



Q1 妊婦歯科検診を受けましたか。

はい	いいえ
3	62

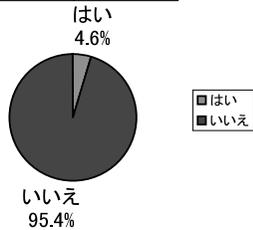


図1 妊婦歯科検診を受けましたか？

Q2 妊娠して歯磨きしにくくなりましたか？

歯磨きしにくくなった	変わらない
34	31

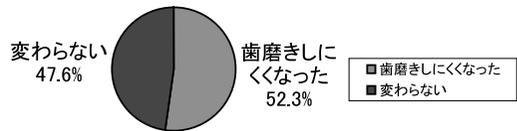


図2 妊娠して歯磨きしにくくなりましたか？

Q3 歯周病の原因と症状を知っていますか？

知っている	知らない
20	45

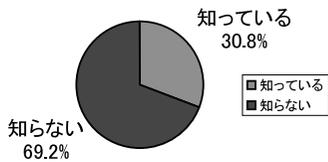


図3 歯周病の原因と症状を知っていますか？

Q4 妊娠すると虫歯や歯周病になりやすいことを知っていますか？

知っている	知らない
45	20

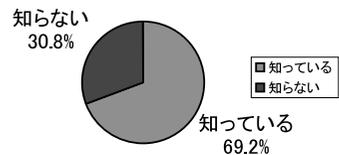


図4 妊娠すると虫歯や歯周病になりやすいことを知っていますか？

Q5 歯科衛生士による歯磨き指導を受けたことがありますか？

ある	ない
32	33

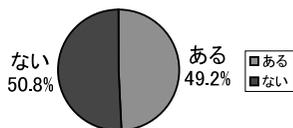


図5 歯科衛生士による歯磨き指導を受けたことがありますか？

Q6 妊娠中でも歯科治療できることを知っていますか？

知っている	知らない
59	6

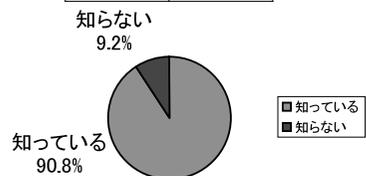


図6 妊娠中でも歯科治療できることを知っていますか？

Q7 歯周病と低体重児や早産の関係を知っていますか？

知っている	知らない
12	53

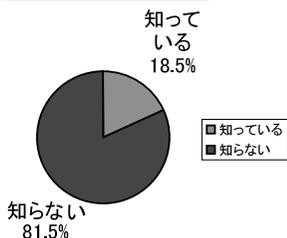


図7 歯周病と低体重児や早産の関係を知っていますか？

Q1 妊娠中の歯磨き方法はわかりましたか？

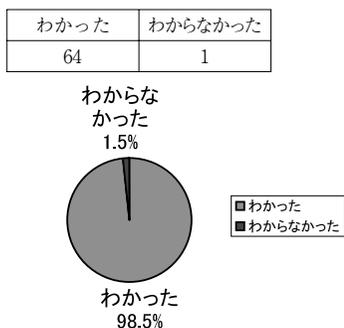


図8 妊娠中の歯磨き方法はわかりましたか？

Q2 妊娠すると虫歯や歯周病になりやすいことがわかりましたか？

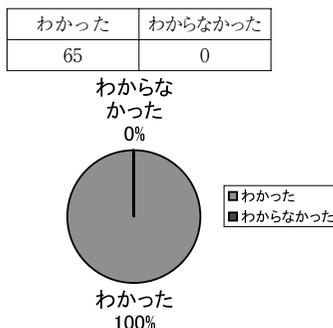


図9 妊娠すると虫歯や歯周病になりやすいことがわかりましたか？

Q3 歯周病の原因や症状がわかりましたか？

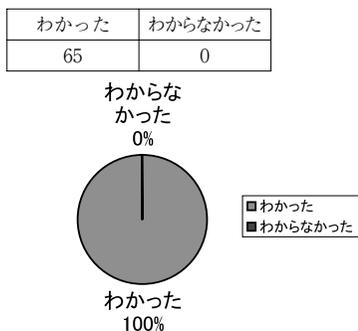


図10 歯周病の原因や症状がわかりましたか？

Q4 歯周病と低体重児や早産の関係がわかりましたか？

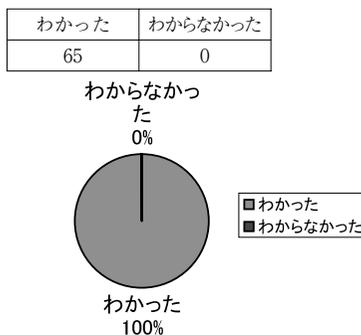


図11 歯周病と低体重児や早産の関係がわかりましたか？

Q5 妊娠中における口の中の健康も大切なことが理解できましたか？

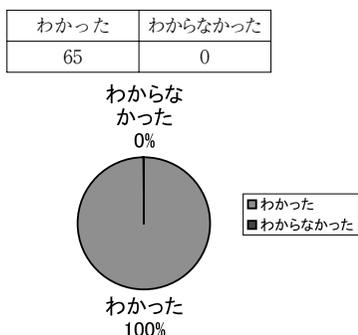


図12 妊娠中における口の中の健康も大切なことが理解できましたか？

Q6 歯科医院に受診してみようと思いましたか？

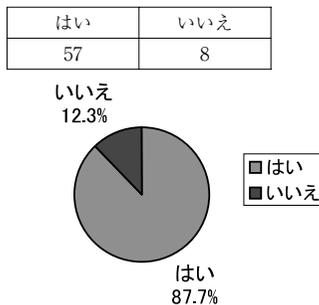


図13 歯科医院に受診してみようと思いましたか？